

平成25年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)
 (対象：平成20年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価時点 H20	町田川 総合流域防災事業 事業主体：県 事業地：唐津市	流路是正、狭窄部解消を行い、土地区画整理事業と一体となった整備を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 計画流量 165m ³ /s 計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=90億円 工期：S58~H32 改修延長：L=4,170m 計画流量：165m ³ /s 計画治水安全度：1/30 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁10基、堰5基	唐津駅南土地区画整理事業関連区域および国道204号関連工区について、河床掘削を残して改修が完了している。 また、神田中村工区の改修が概成し、更に山口川の上流工区への改修促進を図っている。 勇駒橋他7橋が完成 (H19末進捗率 82%) (年平均進捗率 3.3%)	(過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 430戸 農地浸水面積 550ha (地域の状況) 流域内にて、S55年から唐津駅南土地区画整理事業が始まりH16完了。また、山口川流域は民間業者による宅地開発が進み、地域の治水安全度の向上が望まれている。 上流部に国道204号が開通し、商業地域化が進んでいる。	現在(B/C) 11.8		再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H25	町田川 河川整備交付金事業(社会資本整備総合交付金：総合流域防災事業)			中流部、下流部の河床掘削、橋梁補強を残し改修が完了している (H24末進捗率 95%) (年平均進捗率 3.2%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 同上	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 ・総便益(一般資産被害額・農作物被害額・公共土木施設等被害額等) B=187,937百万円 ・総費用額 C=17,736百万円 ・現在(B/C) 10.6	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用	再評価実施後5年が経過	平成2年、平成10年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等	平成22年度より補助金が社会資本整備総合交付金化されたため					前回の評価時と比較し、評価額や資産数量の増減によりBが減少し、費用対効果が減となった。			

